

## 1. 委員会開催状況

## 1) 委員会 9回

## 2) 検討事項

- (1) 医療的ケア児への訪問看護実践の交流会について
- (2) 令和6年度訪問看護師養成講習会「管理期」情報交換会について
- (3) 在宅における利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策に関するガイドブック・動画の評価について
- (4) 次年度計画、予算について

## 2. 活動報告

## 1) 交流会・情報交換会等

## (1) 交流会「地域で医療的ケア児・者を支えるためには」(ハイブリッド開催)

開催日 9月27日

講師 ①在宅支援・訪問看護委員会委員長 楽らくサポートセンター レスピケアナース  
管理者 山田 真理子

②楽らくサポートセンター レスピケアナース 亀谷 涼子 氏

③訪問看護ステーションKobito 管理者 佐藤 千草 氏

内容 医療的ケア児・者への訪問看護経験がある事業所と経験がない事業所が交流し医療的ケア児への  
苦手意識を克服して、受け入れができる事業所を増やす

対象 訪問看護に携わる看護職

参加者 30名

## (2) 情報交換会「訪問看護事業所のICT化について」

開催日 12月20日

講師 ①在宅支援・訪問看護委員会委員長 楽らくサポートセンター レスピケアナース  
管理者 山田 真理子

②ウィル訪問看護ステーション福岡 代表取締役・看護師 落合 実 氏

内容 臨床に即したDX化・ICT化について学び、情報交換を行う

対象 訪問看護事業所の管理者

参加者 25名

## 2) その他

在宅における利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策に関するガイドブック・動画の評価を行った。

## 3. 今後の課題・検討事項等

令和6年度は、医療的ケア児・者の訪問看護実践についての交流会と訪問看護事業所のICT化に関する情報交換会を行った。両方とも訪問看護における喫緊の課題であり、参加者からは好評であった。事業所は急増しているものの、医療的ケア児に関しては苦手意識を持つ事業所も多く、苦手意識の払拭につながる研修であったと考える。

医療や看護のDX化は、少子高齢化に伴う社会変化の中で業務の効率化とともに、質の向上に寄与するものとして促進されており、参加者の役に立つ情報交換会であったと考える。

在宅における利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策に関するガイドブック・動画の評価については、月に1回、ホームページに掲載しているガイドブックの閲覧者数や動画視聴数を調査し、かつアンケートを実施している。令和7年2月現在で県内には1,000以上の訪問看護事業所があると報告されているが、ガイドブックの閲覧者数は令和7年1月で合計534件であった。また、動画は教材説明・導入編・実践編に分けているが、実践編の視聴数は12~34件という状況である。よかナース等で広報すると、閲覧者数が増える傾向にあり、来年度も広報を続け、閲覧者数や視聴数をモニタリングし、アンケートに答えていただけるよう工夫し、取り組みの効果を評価していきたい。